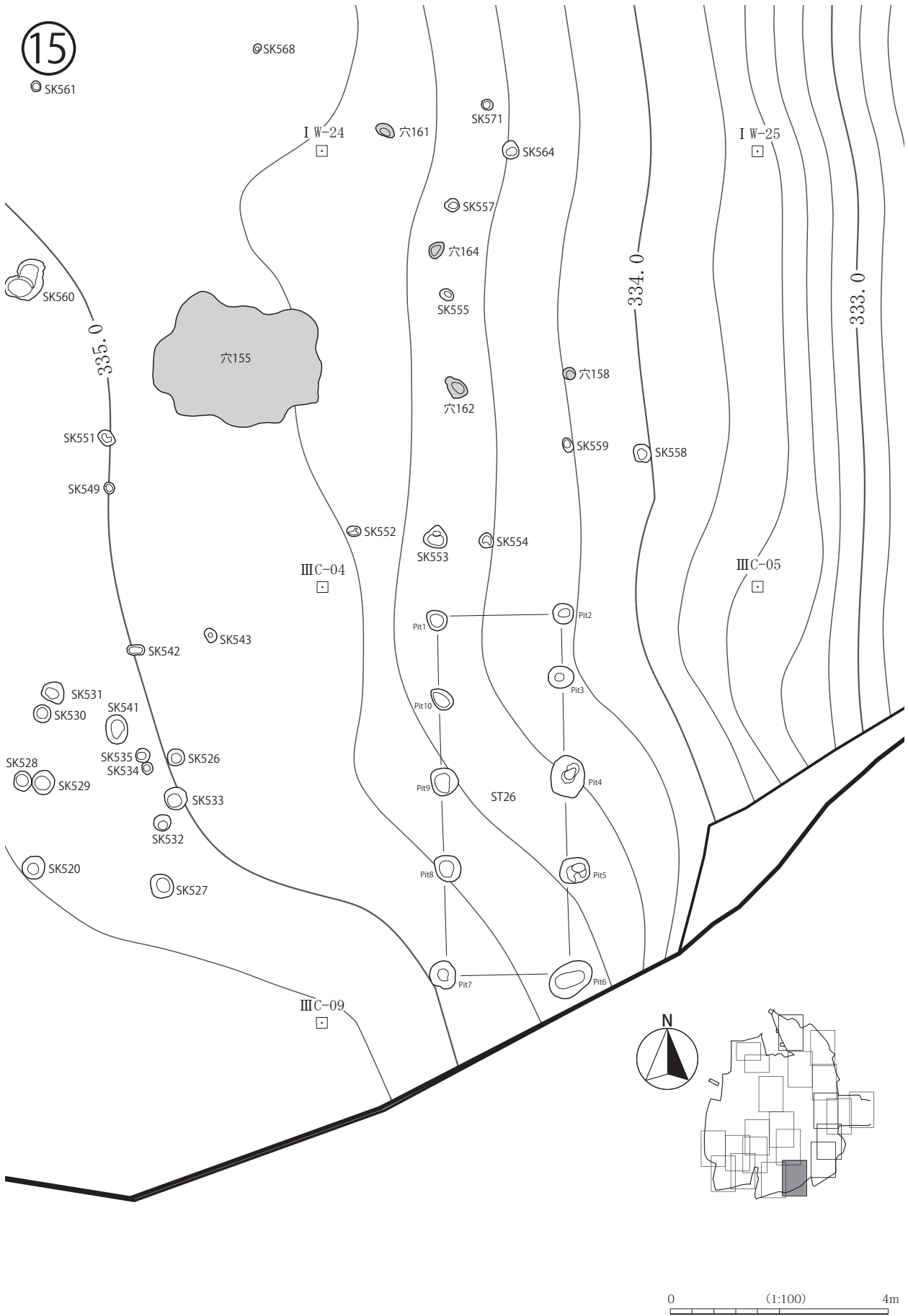
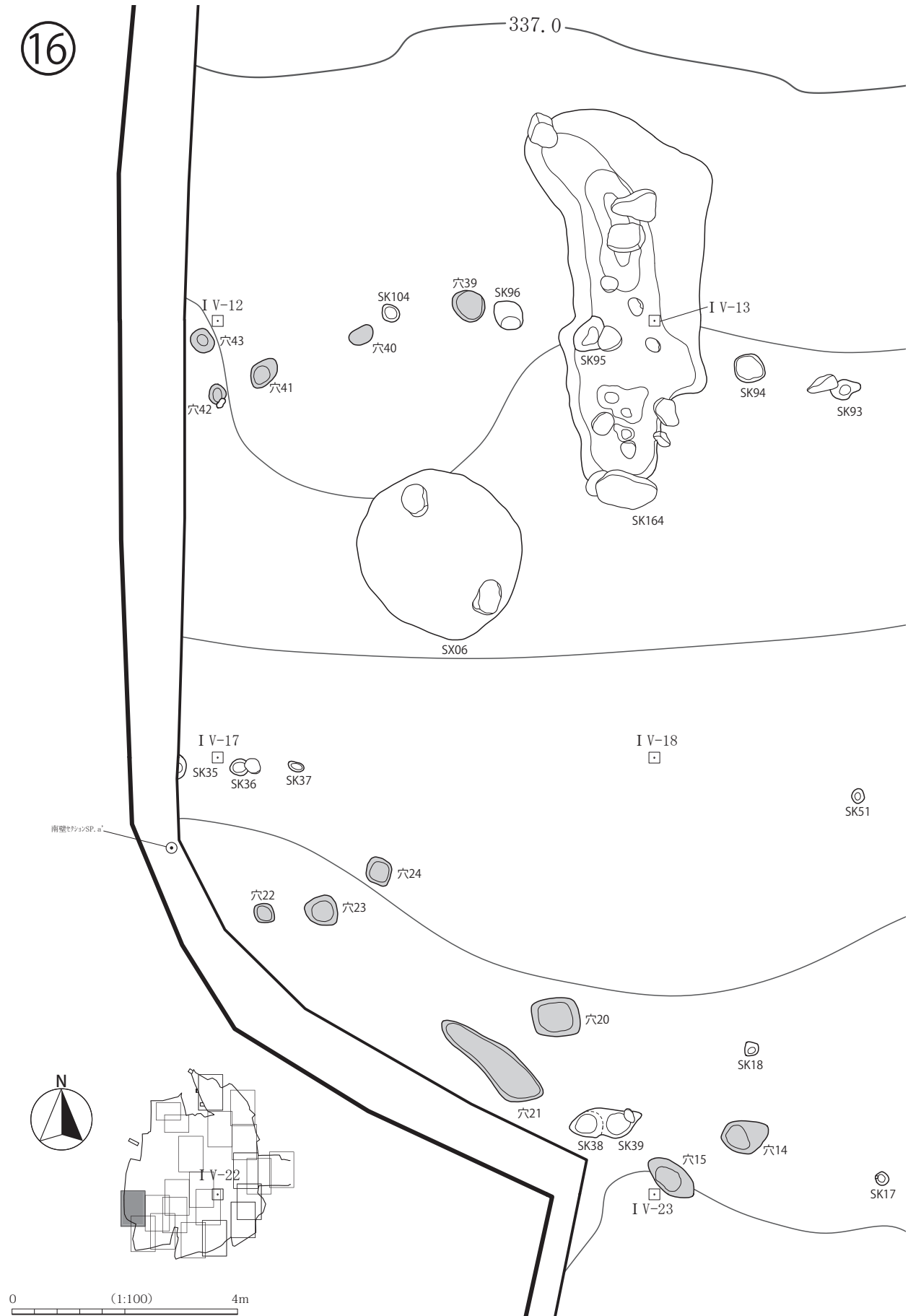


第25図 割付図⑭



第26図 割付図⑮



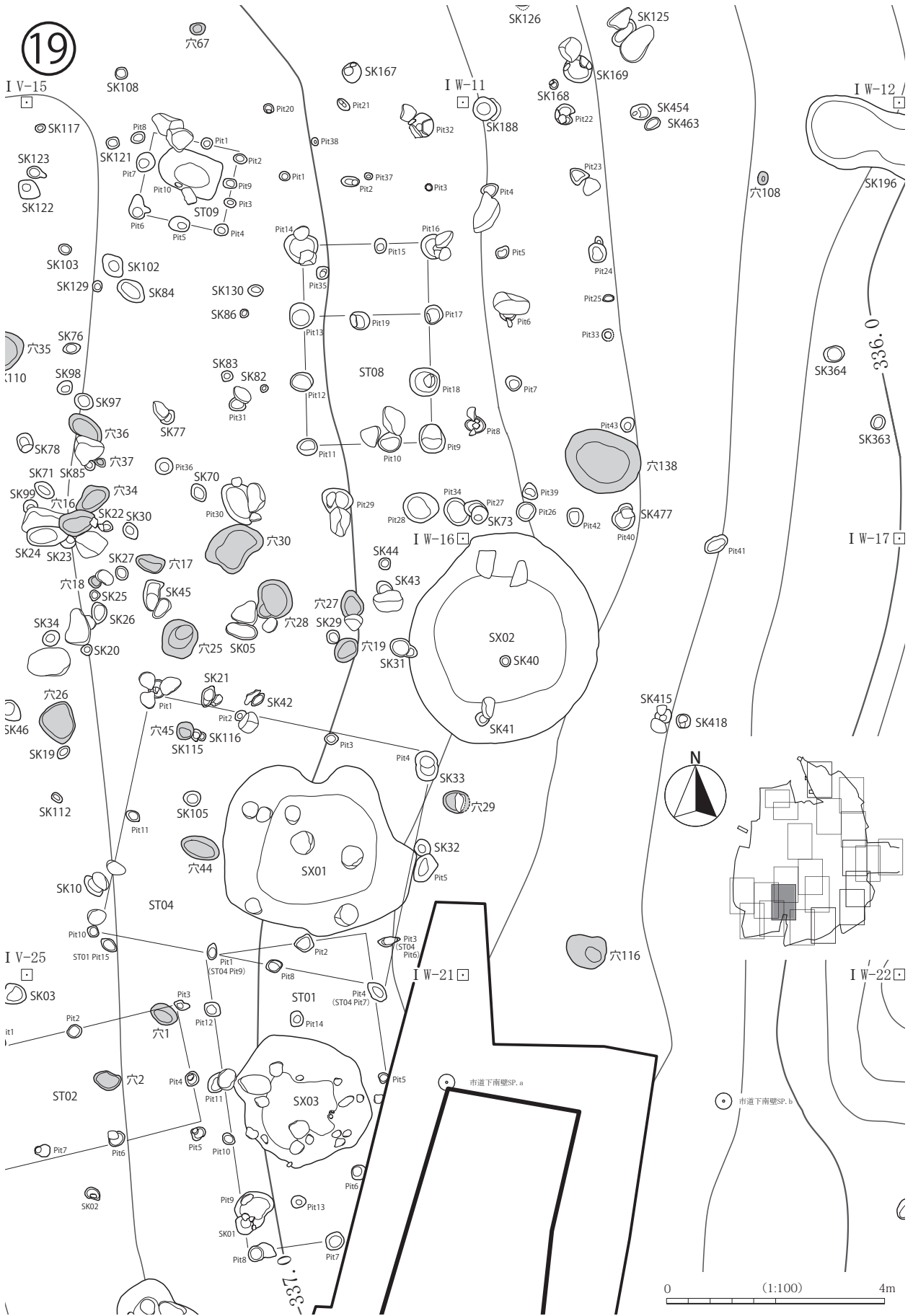
第27図 割付図①6



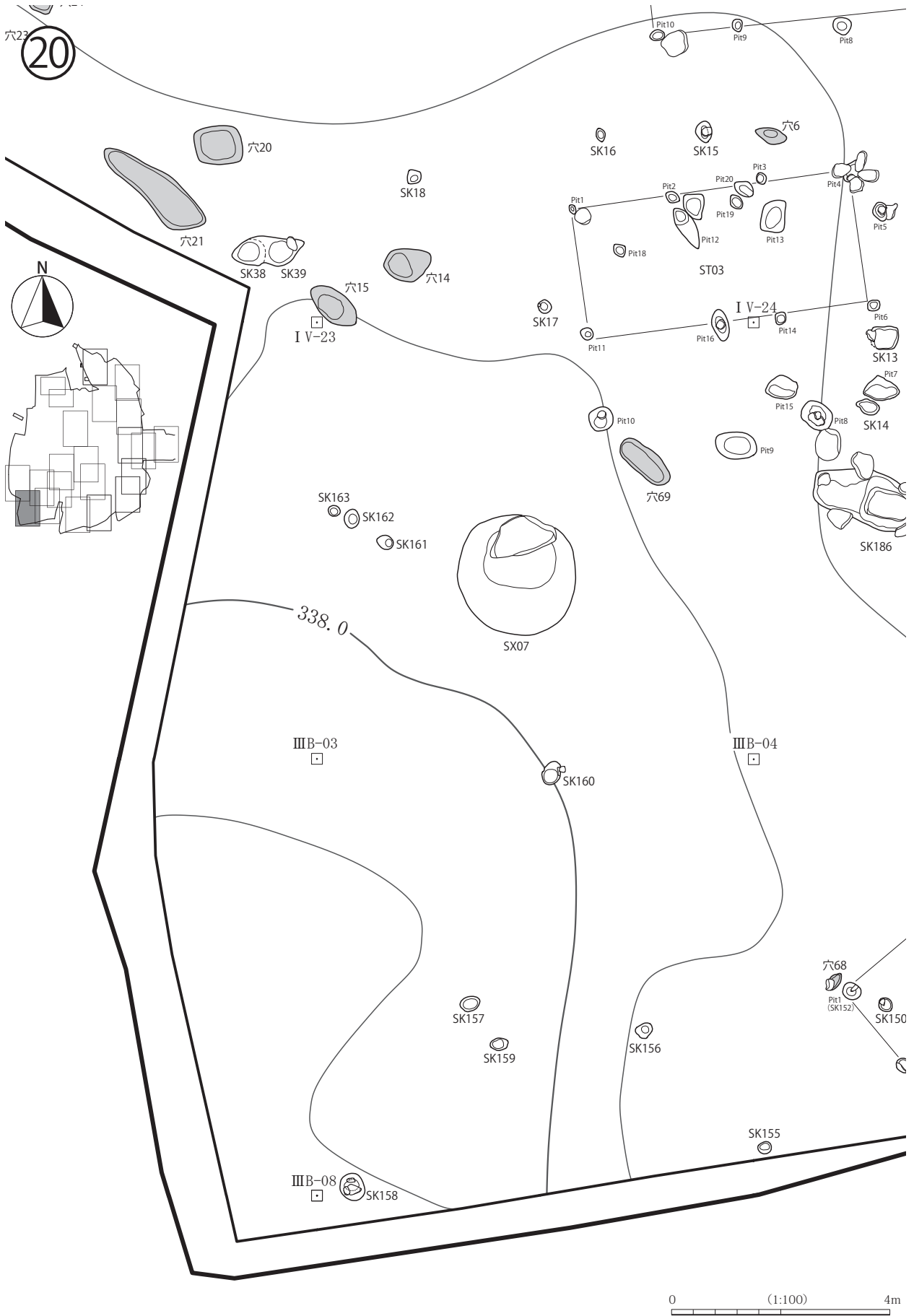
第28図 割付図⑰



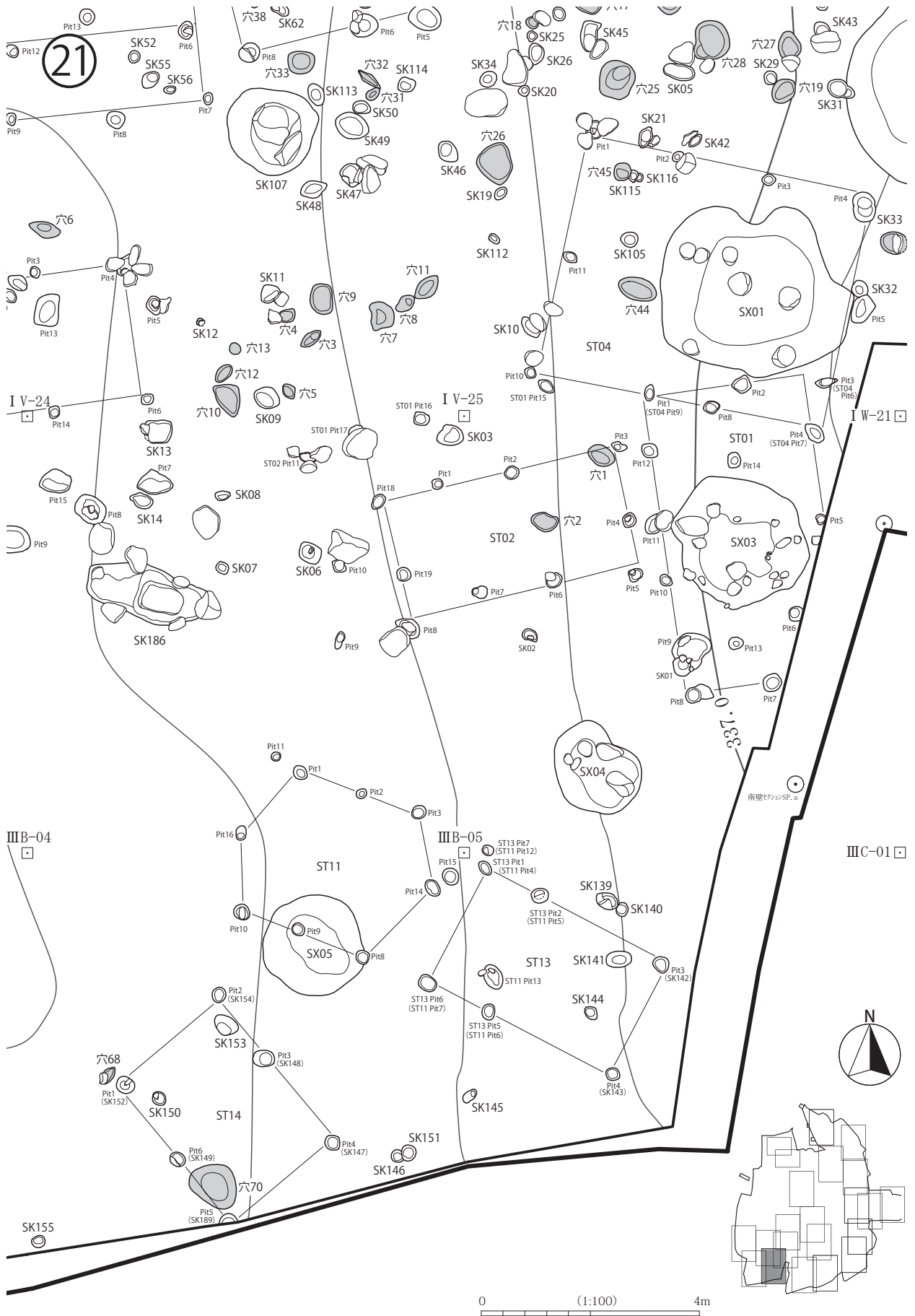
第29図 割付図⑱



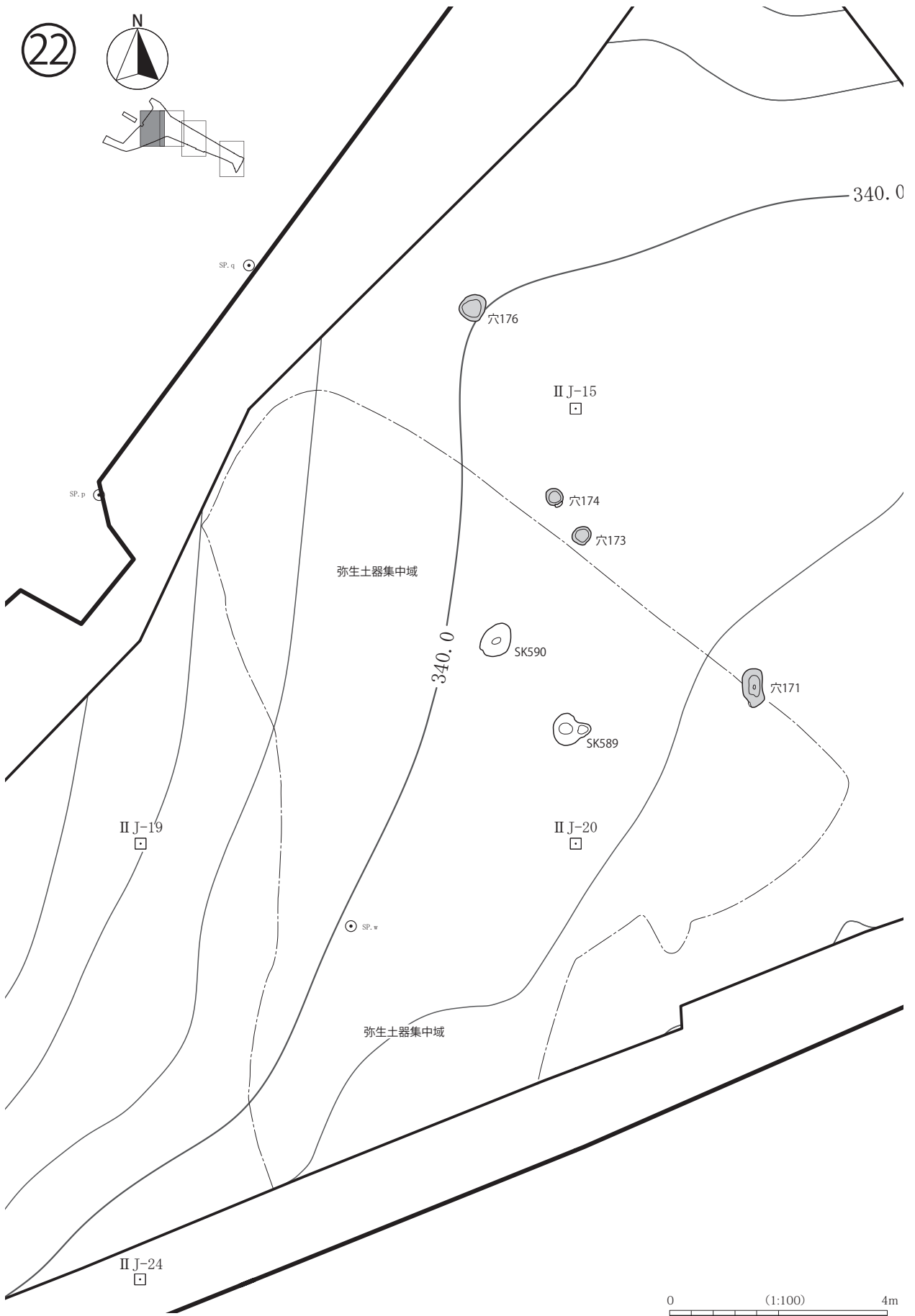
第30図 割付図⑱



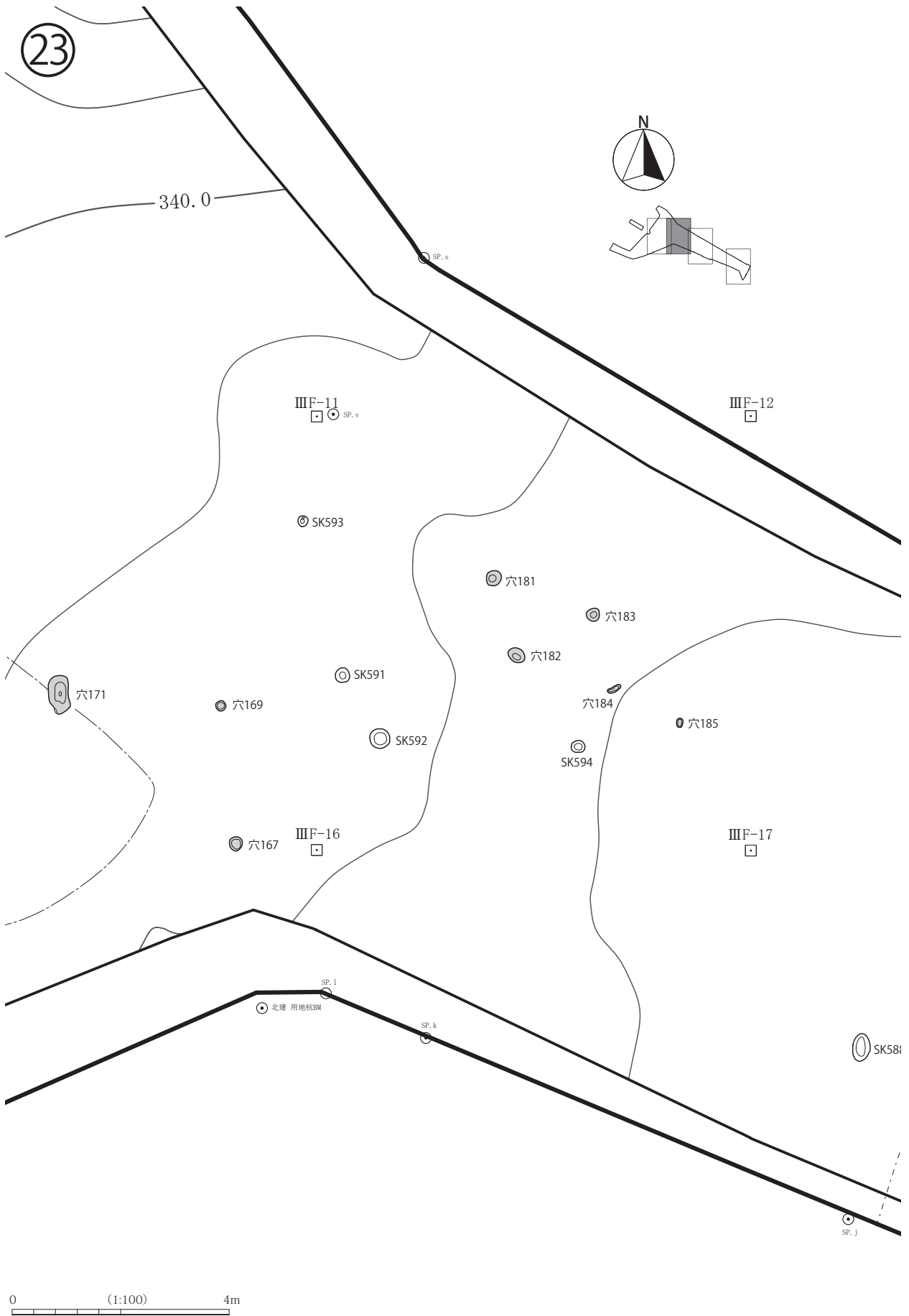
第31図 割付図②



第32図 割付図②

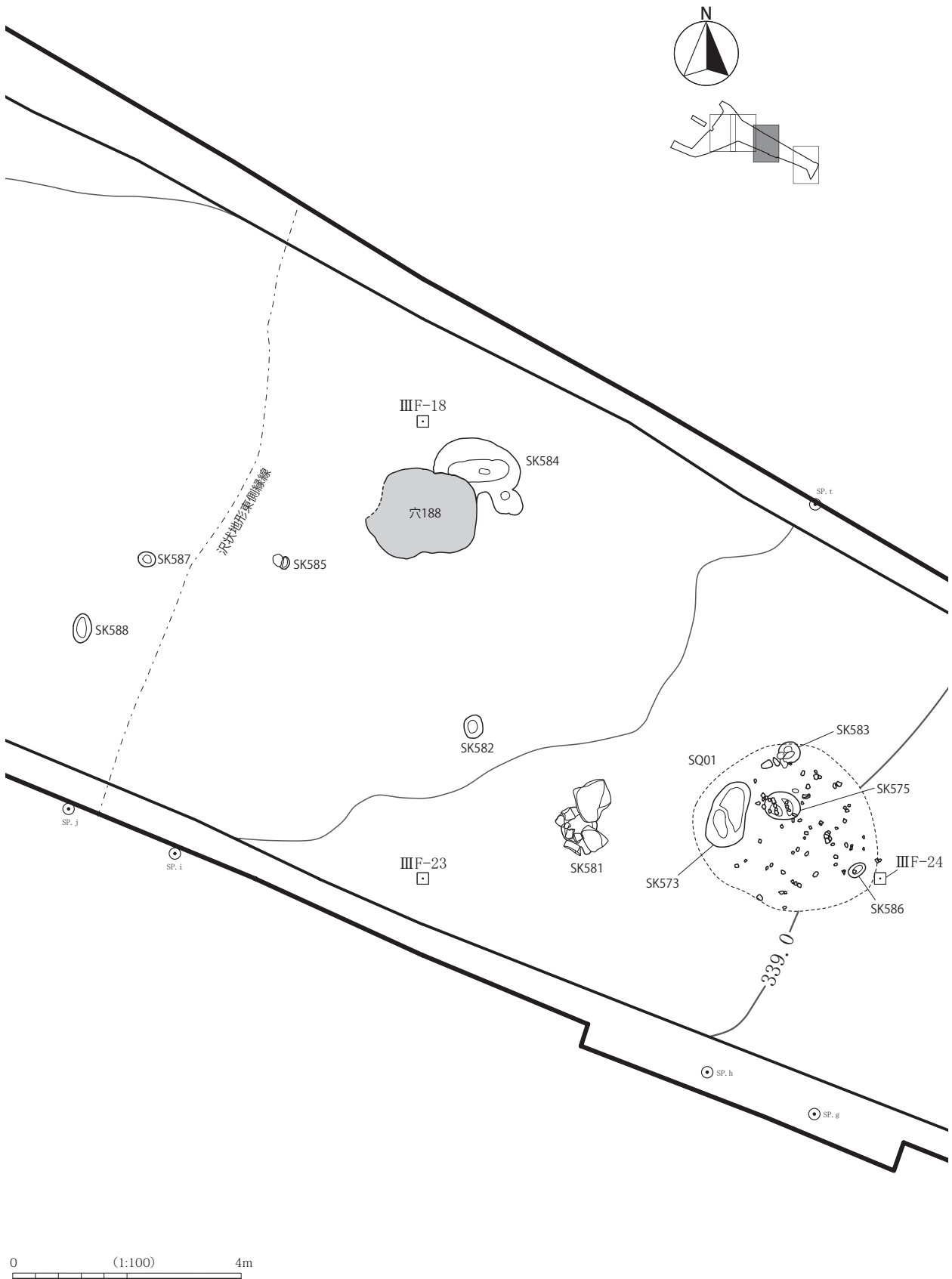


第33図 割付図②

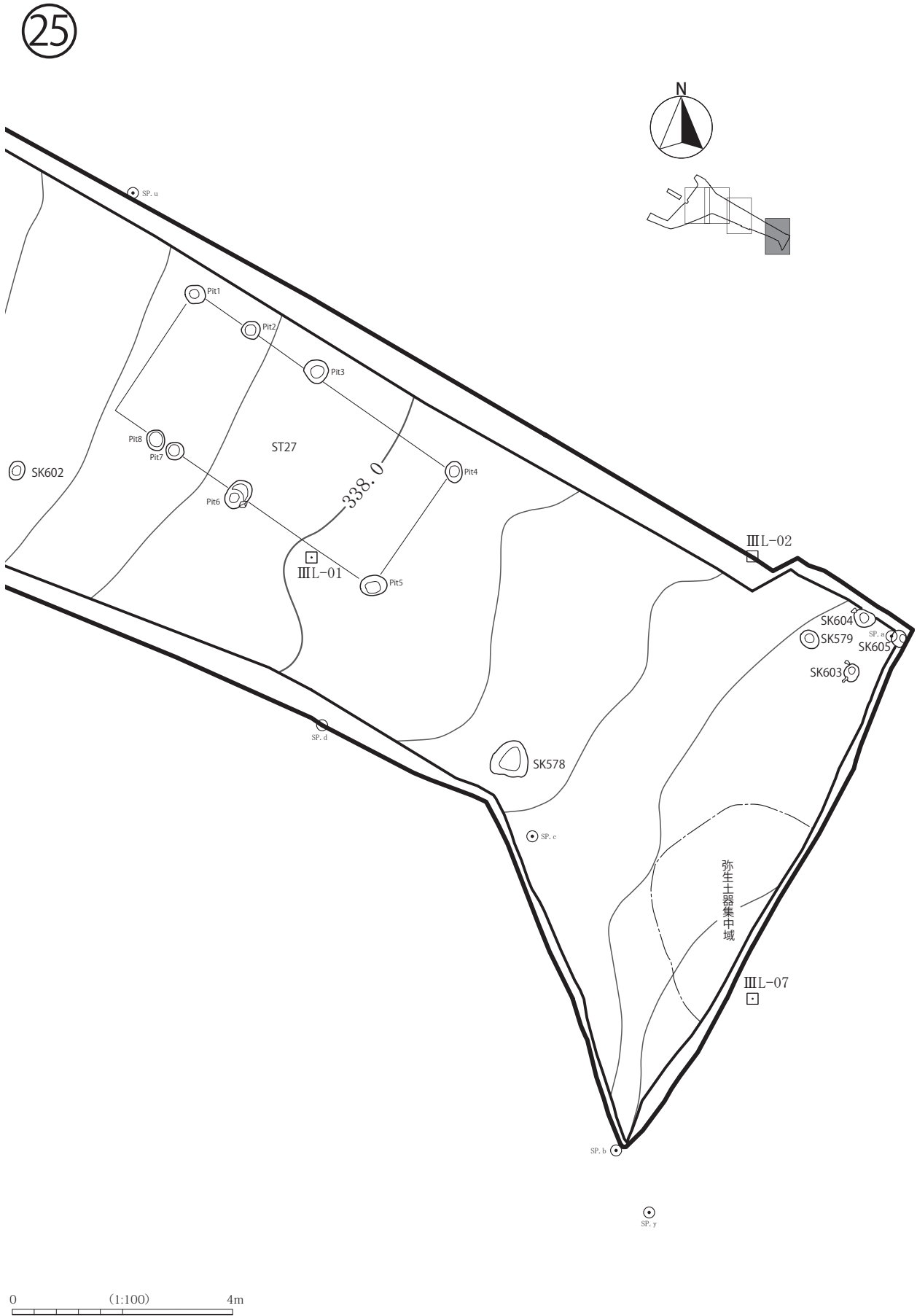


第34図 割付図②③

24



第35図 割付図②4



第36図 割付図②5

4 基本層序 (第37～41図、PL3)

調査区が南北に分断され、北側の調査区も東西に大きく傾斜しているため、調査区間の土層の連続的な対比ができなかった部分もある。遺跡全体では、基本的にはⅠ層～Ⅵ層の基本層序が確認できる(第37図)。Ⅰa層が盛土層、Ⅰb層が耕作土層、Ⅱ層が旧耕作土層、Ⅲa・Ⅲb層が粘土質シルト層、Ⅳ・Ⅳa層が粘土～シルト層、Ⅳb層が粘土質シルト～シルト質砂層、Ⅴ層が粘土質シルト～粘土層、Ⅵ層が礫層または砂層である。Ⅲa・Ⅲb・一部Ⅳa層が縄文～平安時代の遺物包含層、Ⅴ層が地山層である。調査区により、各土層の色調や土質が一様ではなく、基本土層の細分に各調査区で差が生じている。そこで、東区中央シ地点(第37・38図)を基本層序とし、調査区ごとに複数地点の土層柱状図を第38～41図に示した。それぞれの地点ごとに固有の層名が付けられているが、基本層序に対応すると考えられる層である場合には基本層序を()で右側に表示した。なお、基本層序とほぼ同一層の場合はそのまま表示し、内容が異なる部分があるものは注記に記した。土層断面図は、第37図で示す地点を南側ないしは東側から見た図となっている。

各層の内容は以下のとおりである。

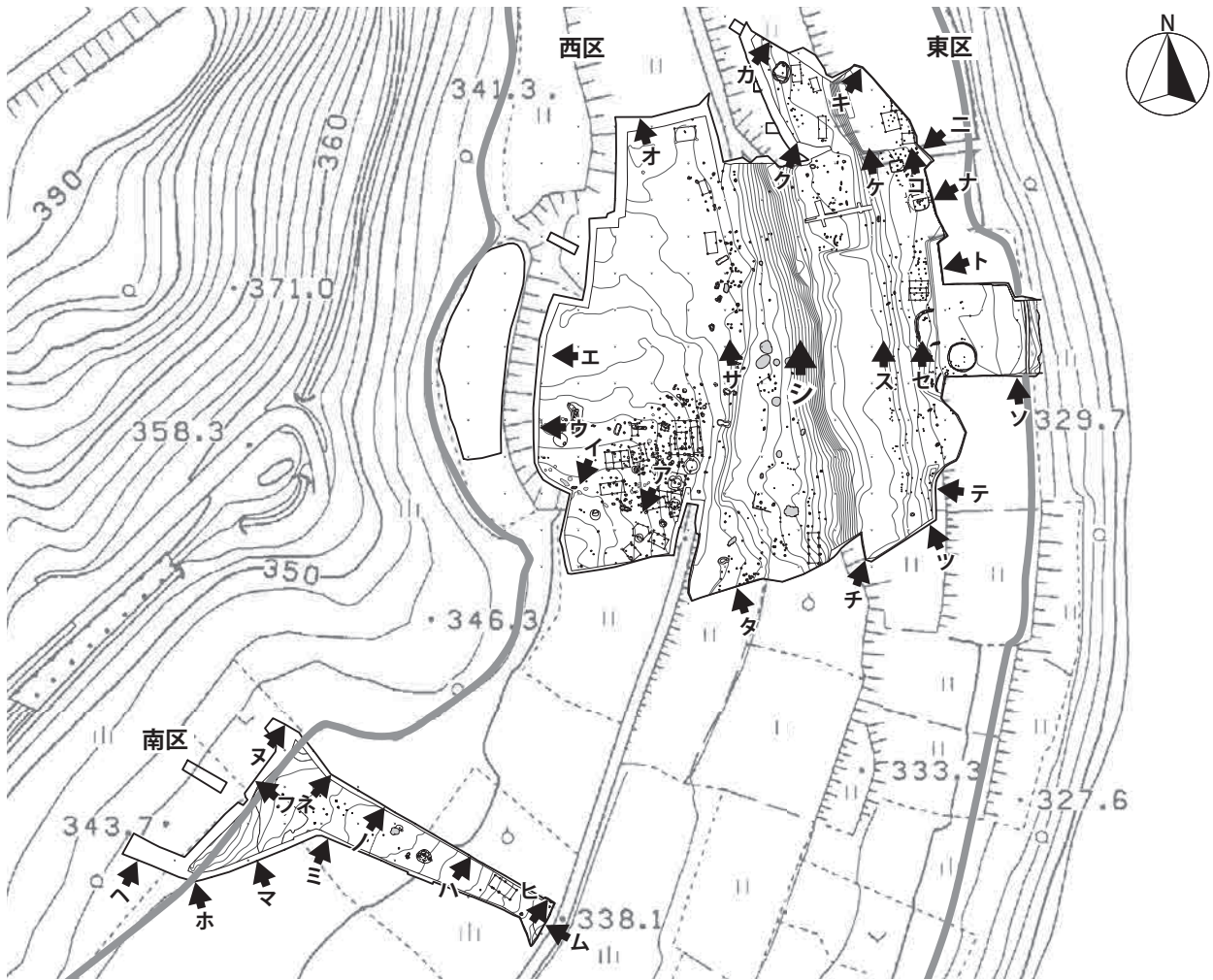
- Ⅰa層：暗オリーブ褐色 (Hue2.5Y3/3) 粘土。盛土層。西区にはなく、南区は西側以外にない。近年耕作が行なわれた地区は現耕作土(Ⅰb層)が上部にみられる。
- Ⅰb層：黒色 (Hue10YR2/1)～黒褐色 (Hue10YR2/2) 砂質シルト。耕作土層。
- Ⅱ層：黒色 (Hue10YR2/1)～黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質シルト。旧耕作土層。上層からの耕作により本層が消滅した箇所が各地区でみられる。
- Ⅲa層：黒色 (Hue10YR1.7/1) 粘土質シルト。縄文～平安時代の遺物包含層。西区では層が混在しⅢa～Ⅲb層とし、東区北側・東側・南側、南区北側・東側では分層できずⅢ層とした。また本層が良好に残存するのは、東区中央と南区北側・南側である。
- Ⅲb層：黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質シルト。縄文～古墳時代の遺物包含層。一部、平安時代の遺構検出面。西区で明確でないほかは、調査区全体にみられる。
- Ⅳa層：暗褐色 (Hue10YR3/4) 粘土～砂質シルト(崩落土)。縄文～古墳時代の遺構検出面。一部、縄文時代の遺物包含層。西区、東区東側ではⅣ層としてまとめた。また南区で3c層とした層は、本層の上部に対応する。
- Ⅳb層：暗褐色 (Hue10YR3/3～3/4) 粘土質シルト～シルト質砂。Ⅲ～Ⅴ層の漸移層。
- Ⅴ層：褐色 (Hue10YR4/4～4/6) 粘土質シルト～粘土。地山土。東区東側では、下層が砂質となりⅤa層とⅤb層に分層した。
- Ⅵ層：暗褐色 (Hue10YR3/4)～にぶい黄褐色 (Hue10YR4/3) 礫層または砂層。Ⅴ層下部で互層に堆積。

註

- 1) 2015(平成27)年7月15日、桐原健に確認。また、滝脇地区からは昭和15年頃の水田開墾時に大型蛤刃石斧が出土している(第10図-写真)。
- 2) 桐原健は、出土した弥生土器を栗林Ⅲ類(桐原1963)としている。

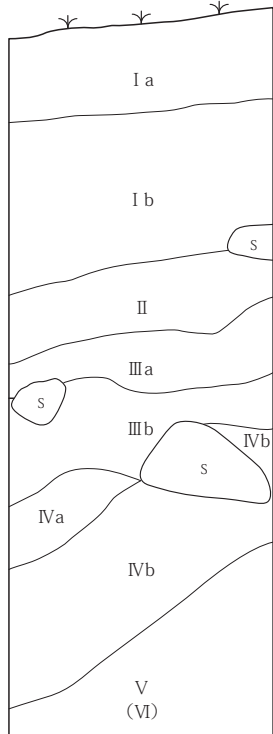
引用・参考文献

- 神田五六 1963「豊田村の古代文化」『豊田村誌』豊田村誌刊行会：243-269
- 桐原健 1963「栗林式土器の再検討」『考古学雑誌』49-3：19-34
- 桐原健 1968「下水内郡豊田村笠倉の弥生式遺跡」『高井』6：11-14
- 中野市教育委員会 2006『長野県中野市遺跡詳細分布図』
- 中野市教育委員会 2014『長野県中野市遺跡詳細分布図(改訂版)』



琵琶島遺跡基本層序

0 (1:1600) 40m



東区中央 シ地点南壁 (北より)



0 (1:20) 50cm

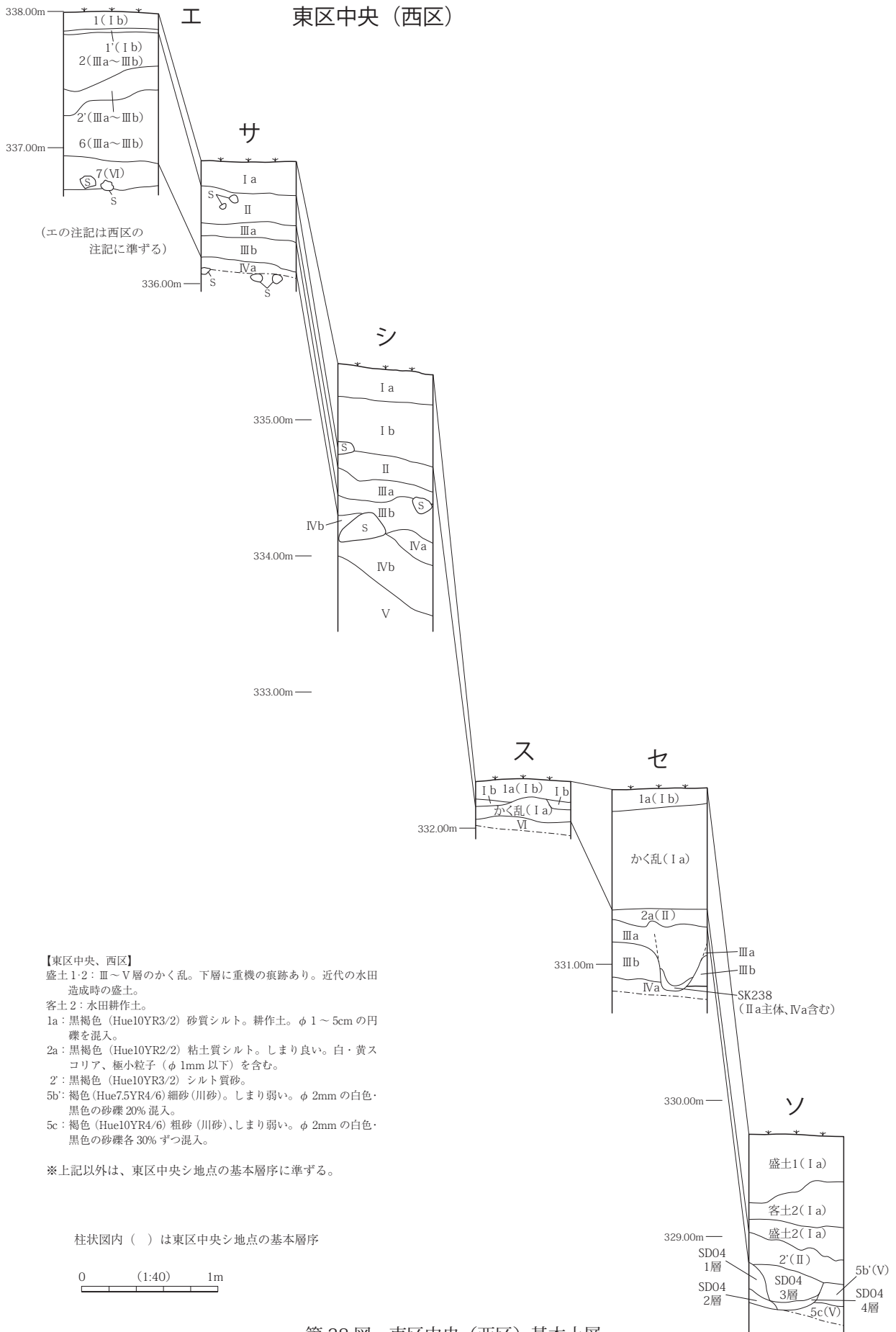
第 37 図 琵琶島遺跡の土層

【基本層序】

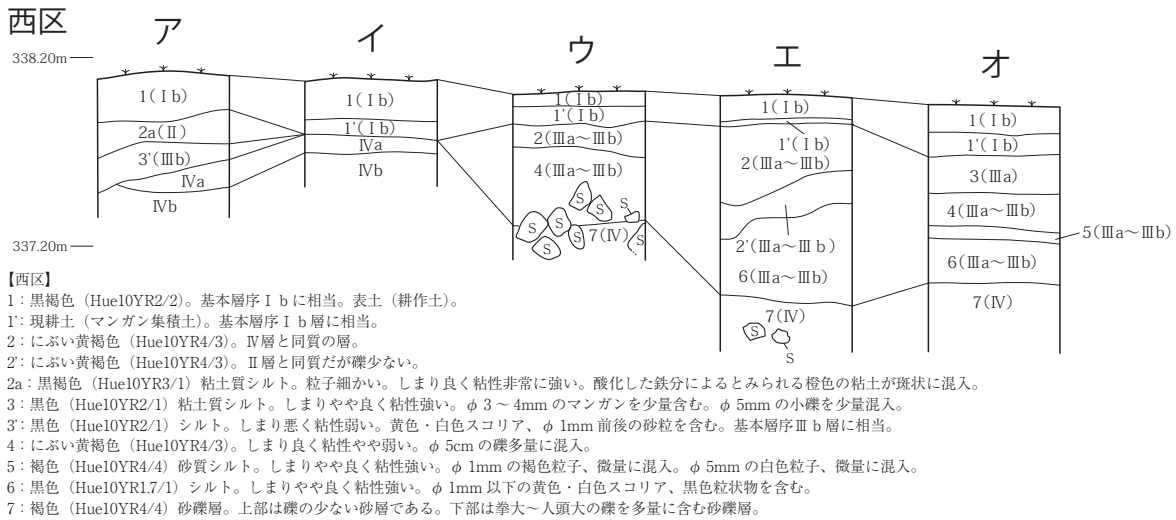
- I a: 暗オリーブ褐色 (Hue2.5Y3/3) 粘土。盛土層。しまり良く粘性強い。人頭大の礫混入。
- I b: 黒色 (Hue10YR2/1) ~ 黒褐色 (Hue10YR2/2) 砂質シルト。耕作土層。しまりやや良く粘性やや強い。拳大の礫混入。
- II: 黒色 (Hue10YR2/1) ~ 黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質シルト。旧耕作土層。しまりやや良く粘性強い。混入物少なく、西側で白色・橙色スコリア微量混入。東側に拳大の礫混入。
- III a: 黒色 (Hue10YR1.7/1) 粘土質シルト。縄文~平安時代の遺物包含層。しまりやや悪く粘性強い。白色・橙色スコリア混入。
- III b: 黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質シルト。縄文~古墳時代の遺物包含層。一部、平安時代の遺構検出面。しまりやや悪く粘性弱い。白色・橙色スコリア混入。φ 40mm ~ 拳大の礫混入。
- IV a: 暗褐色 (Hue10YR3/4) 粘土~砂質シルト (崩落土)。縄文~古墳時代の遺構検出面。一部、縄文時代の遺物包含層。しまり良く粘性強い。φ 20 ~ 30mm の円礫混入。
- IV b: 暗褐色 (Hue10YR3/3 ~ 3/4) 粘土質シルト~シルト質砂。III ~ V 層の漸移層。しまり普通で粘性弱い。φ 10 ~ 20mm の円礫混入。
- V: 褐色 (Hue10YR4/4 ~ 4/6) 粘土質シルト~粘土。地山土。しまり良く粘性強い。φ 40mm ~ 拳大の礫混入。粗砂混入しザラつく。
- (VI): 暗褐色 (Hue10YR3/4) ~ にぶい黄褐色 (Hue10YR4/3) 礫層または砂層。しまり良く粘性弱い。



東区中央 東斜面南壁

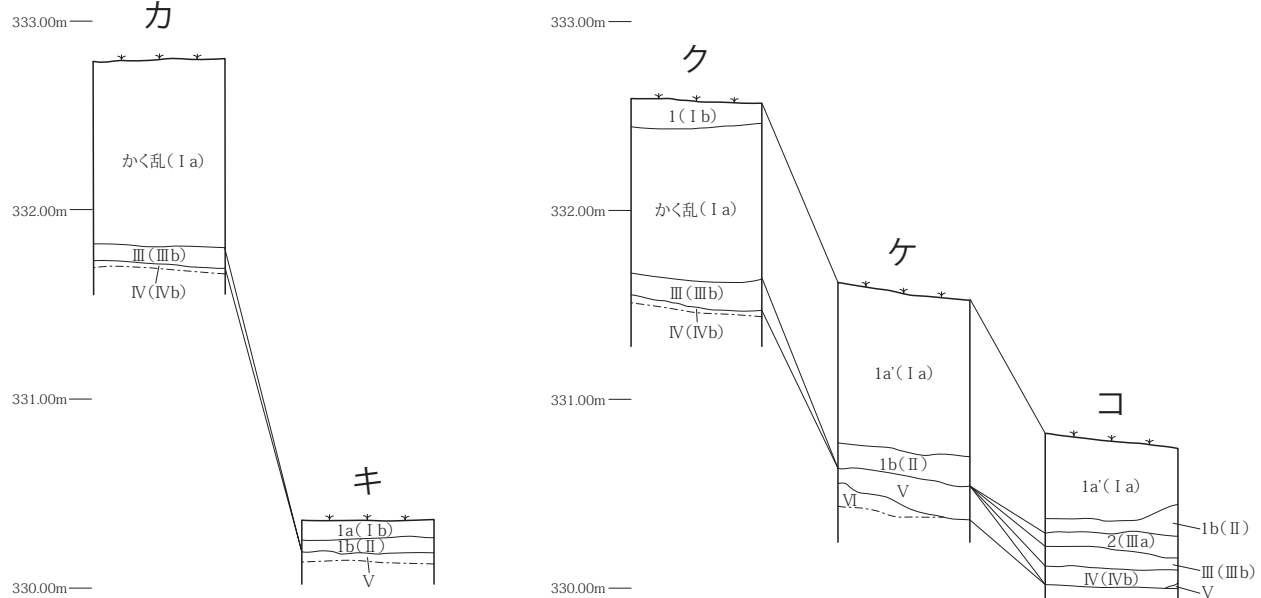


第38図 東区中央（西区）基本土層



※上記以外は、東区中央シ地点の基本層序に準ずる。

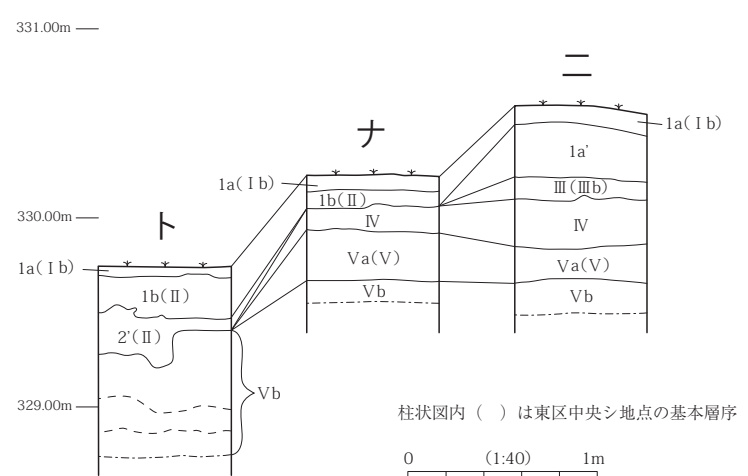
東区北側



- 【東区北側・東側】
- かく乱: 盛土層。基本層序 I a 層に相当。
 - 1: 黒褐色 (Hue10YR3/2) 水田耕作土。
 - 1a: 褐灰色 (Hue10YR4/1) 粘土質シルト。しまりやや悪く粘土に近く粘性強い。現在の水田耕作土。基本層序 I b に相当。
 - 1a': 暗褐色 (Hue10YR3/3) 粘土質シルト。道路を造るための客土。
 - 1b: 黒褐色 (Hue10YR3/2) 粘土質シルト。しまり I a 層より良く粘性強い。上層中心に鉄分集積 50% 以上。下層中心に IV 層ブロック 10~30% 混入。耕作土の床土。
 - 2: 黒色 (Hue10YR2/1) 粘土質シルト。しまりやや良く粘性やや強い。最も黒色となる層である。
 - 2': 黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質シルト。しまり良く粘性強いが、水流による黒褐、にぶい黄褐色のラミナで形成される。上部に 1b 層の続きの鉄分集積がみられる部分あり。
 - III: 黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質シルト。しまり良く粘性強い。東区南側 III b 層に類似。(北側カ・ク・コ、東側ニ地点)
 - IV: 暗褐色 (Hue10YR3/3) 砂質シルト。しまりかなり良く粘性弱い。東区南側 IV b 層に類似。III~V 層の漸移層。(北側カ・ク・コ、東側ナ・ニ地点)
 - V: にぶい黄褐色 (Hue10YR4/3) ~ 褐色 (Hue10YR4/4) 砂質シルト。しまりかなり良く粘性やや強い。
 - V a: 基本層序 V 層に相当。(東側ナ・ニ地点)
 - V b: 褐色 (Hue10YR4/4) 砂質シルト。しまり良く粘性弱い。上層、下層で鉄分集積。下層は、粘土が斑状に集積し粘性強くなる。(東側)
 - VI: 暗褐色 (Hue10YR3/4) 砂質シルト。または、基盤となる礫層。しまり良く粘性やや強い。φ 20~30mm の砂礫を 50% 以上混入。50mm ~ 拳大の礫も含む。

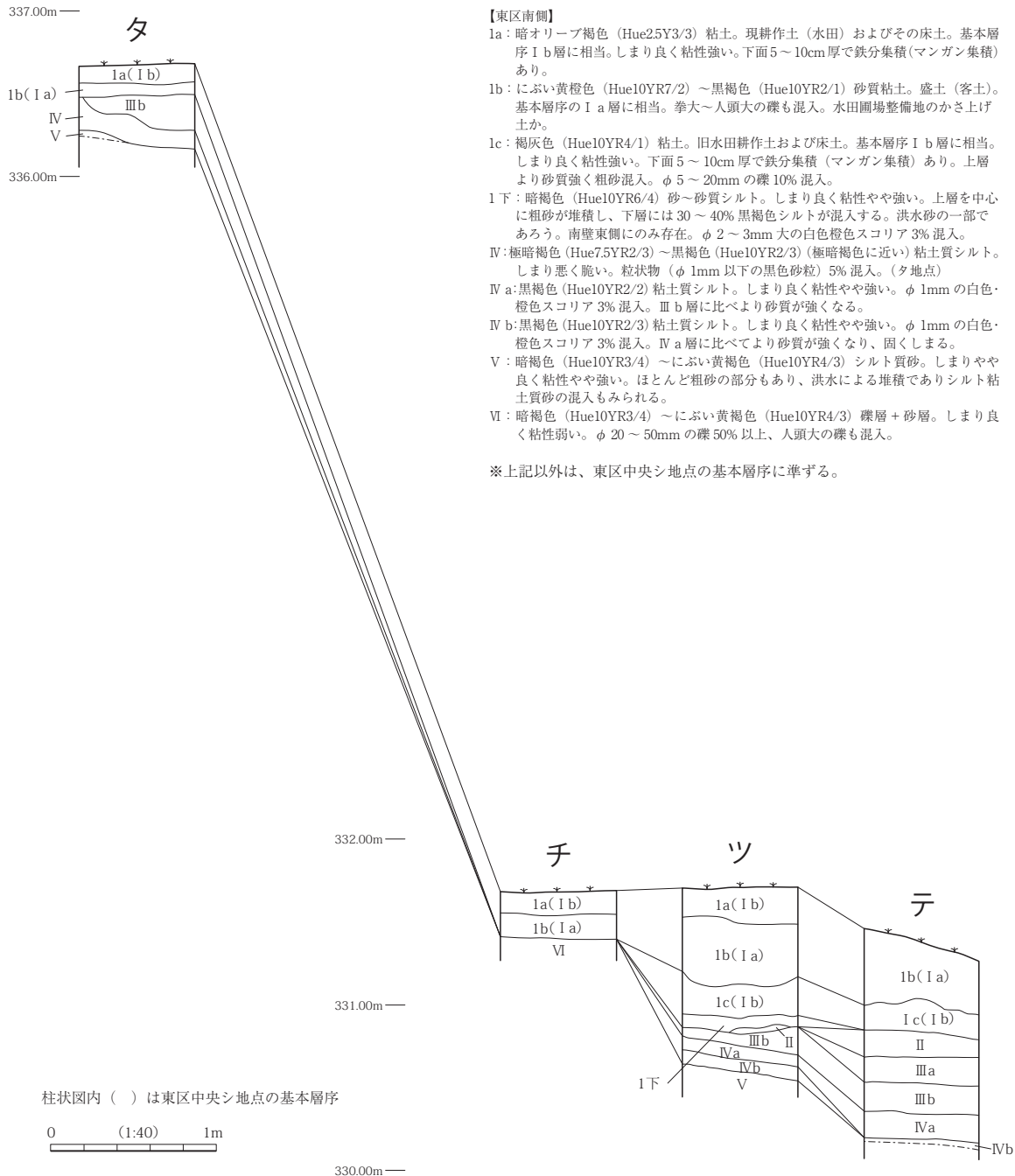
※上記以外は、東区中央シ地点の基本層序に準ずる。

東区東側



第39図 西区、東区北側・東側基本層序

東区南側



【東区南側】

- 1a: 暗オリーブ褐色 (Hue2.5Y3/3) 粘土。現耕作土 (水田) およびその床土。基本層序 I b 層に相当。しまり良く粘性強い。下面5~10cm厚で鉄分集積 (マンガン集積) あり。
- 1b: にぶい黄橙色 (Hue10YR7/2) ~ 黒褐色 (Hue10YR2/1) 砂質粘土。盛土 (客土)。基本層序の I a 層に相当。拳大~人頭大の礫も混入。水田圃場整備地のかさ上げ土か。
- 1c: 褐灰色 (Hue10YR4/1) 粘土。旧水田耕作土および床土。基本層序 I b 層に相当。しまり良く粘性強い。下面5~10cm厚で鉄分集積 (マンガン集積) あり。上層より砂質強く粗砂混入。φ 5~20mmの礫 10% 混入。
- 1下: 暗褐色 (Hue10YR6/4) 砂~砂質シルト。しまり良く粘性やや強い。上層を中心に粗砂が堆積し、下層には30~40% 黒褐色シルトが混入する。洪水砂の一部であろう。南壁東側にのみ存在。φ 2~3mm 大の白色橙色スコリア 3% 混入。
- IV: 極暗褐色 (Hue7.5YR2/3) ~ 黒褐色 (Hue10YR2/3) (極暗褐色に近い) 粘土質シルト。しまり悪く脆い。粒状物 (φ 1mm 以下の黒色砂粒) 5% 混入。(タ地点)
- IV a: 黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質シルト。しまり良く粘性やや強い。φ 1mm の白色・橙色スコリア 3% 混入。III b 層に比べてより砂質が強くなる。
- IV b: 黒褐色 (Hue10YR2/3) 粘土質シルト。しまり良く粘性やや強い。φ 1mm の白色・橙色スコリア 3% 混入。IV a 層に比べてより砂質が強くなり、固くしまる。
- V: 暗褐色 (Hue10YR3/4) ~ にぶい黄褐色 (Hue10YR4/3) シルト質砂。しまりやや良く粘性やや強い。ほとんど粗砂の部分もあり、洪水による堆積でありシルト粘土質砂の混入もみられる。
- VI: 暗褐色 (Hue10YR3/4) ~ にぶい黄褐色 (Hue10YR4/3) 礫層+砂層。しまり良く粘性弱い。φ 20~50mm の礫 50% 以上、人頭大の礫も混入。

※上記以外は、東区中央シ地点の基本層序に準ずる。

【南区】

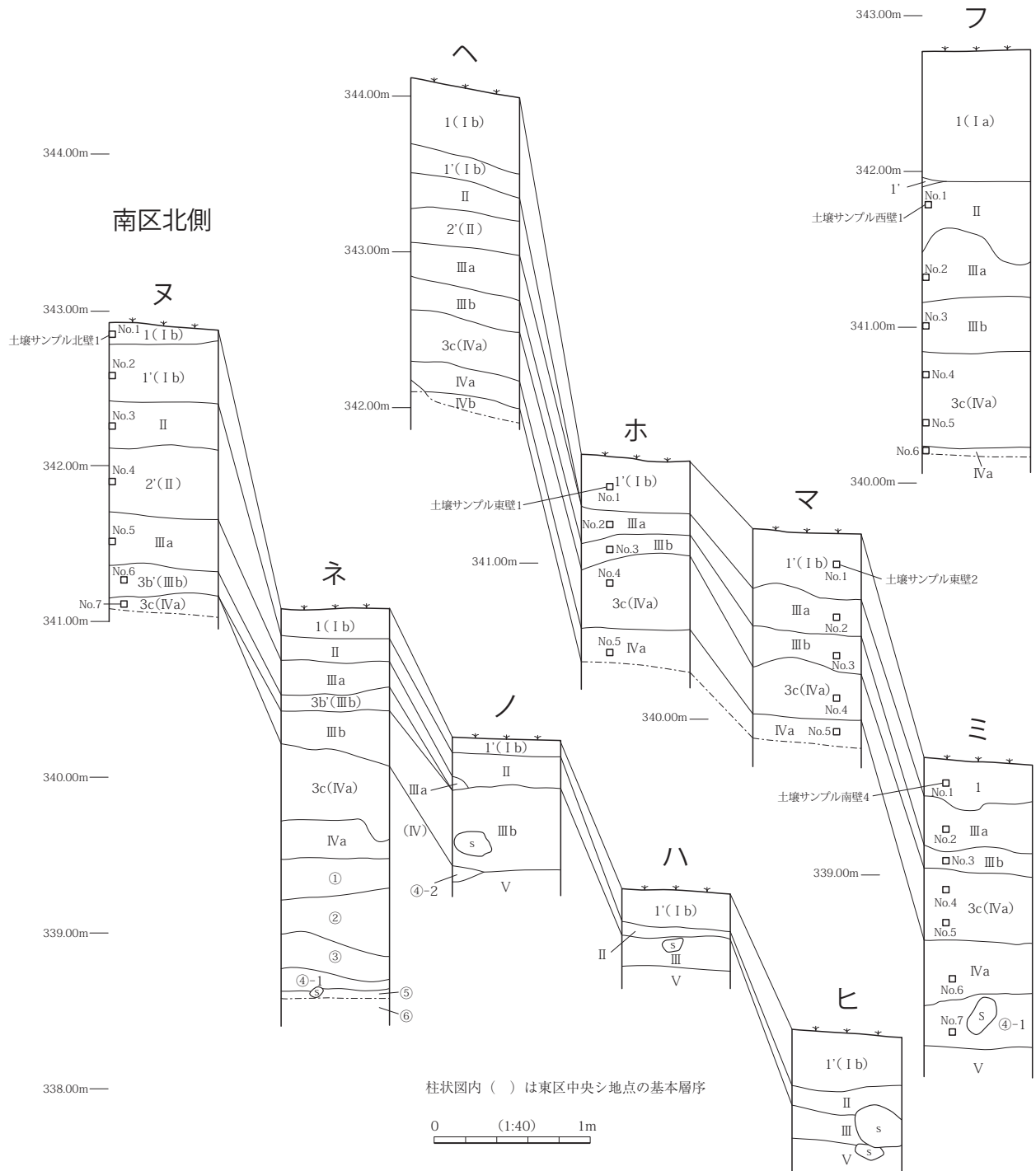
- I: 暗褐色 (Hue10YR3/4) シルト粘土質砂。しまり良く粘性弱い。砂が 80% 以上を占める (西側の方が砂層が厚い。東へいくほど土壌化進む)。φ 20~40mm の礫混入。
- I': 暗褐色 (Hue10YR3/4) シルト粘土質砂。しまり良く粘性弱い。φ 2~3mm の白色風化礫 10% 混入。1層より土壌化進む。II層への漸移層である。
- II: 黒褐色 (Hue10YR2/3) シルト粘土質砂。しまり良く粘性弱い。φ 2~3mm の白色風化礫 15% 混入。1層より土壌化進むが砂質強い。
- 2': 黒褐色 (Hue10YR2/3) シルト粘土質砂。しまり良く粘性弱い。φ 2~3mm の白色風化礫 20% 混入。
- III: 黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質シルト。しまりやや悪く粘性弱い。φ 5~20cm の礫 20%、白色風化礫 5% 混入。(北側ハ・ヒ、東側ム地点)
- III a: 黒色 (Hue10YR1.7/1) 粘土質シルト。しまりやや良く粘性強い。φ 2~3mm の白色風化礫 10% 混入。指頭大~拳大の礫、下層中心に 20% 混入 (西側に多い)。弥生中期遺物包含層。
- 3b': 黒褐色 (Hue10YR3/1) シルト。大~小礫 20% 混入。φ 1~5cm 黄褐色風化礫 20% 混入。(北側ヌ・ネ地点)
- III b: 黒色 (Hue10YR2/1) 砂質シルト。しまり良く粘性弱い。φ 2~3mm の白色風化礫 30% 混入。砂質強くなる。
- 3c: 黒褐色 (Hue10YR3/1) 砂質シルト。φ 2~3mm の白色風化礫 10% 混入。拳大礫 5% 下層中心に混入。縄文早~後期遺物包含層 (上層一部分のみ)。基本層序 IV a 層の上部に相当。
- IV a: 黒褐色 (Hue10YR2/3) 粘土質シルト。φ 2~3mm の白色風化礫 5~7% 混入。φ 10mm の黄褐色風化礫 2% 混入。
- IV b: 暗褐色 (Hue10YR3/3) 粘土質シルト。φ 1~2mm の白色風化礫 3~5% 混入。
- V: III層ににぶい褐色 (Hue10YR4/3) 砂質シルトが混入。φ 5~20cm の礫、III層より多く含む。

※上記以外は、東区中央シ地点の基本層序に準ずる。

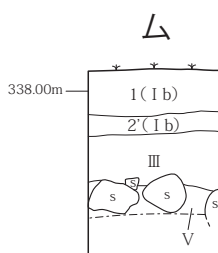
第 40 図 東区南側基本土層

南区西側

南区南側



南区東側



【沢状地形の土層ネ・ノ・ミ地点】

- ①：にぶい黄褐色 (Hue10YR4/3)。シルト基調、細粒砂混入。しまり良く粘性やや強い。粘土混入 (薄層状に数枚含まれる)。黄褐色風化礫 (φ 5mm ~ 拳大) 5% 混入。白色風化礫 (φ 1 ~ 3mm) 5% 以下混入。
- ②：暗褐色 (Hue10YR3/3) 粘土。しまり良く粘性強い。黄褐色 (Hue10YR5/4) 粘土、ブロック状に混入。細粒砂少量、黄褐色風化礫 (φ 5 ~ 10mm)、白色風化礫 (φ 3mm) 10% 混入。
- ③：暗褐色 (Hue10YR3/3) シルト。しまり良く粘性やや強い。中間ににぶい黄褐色 (Hue10YR5/4) 粘土層挟む。白色風化礫 (φ 1 ~ 3mm) 混入。
- ④-1：にぶい黄褐色 (Hue10YR5/4) シルト。しまり悪く粘性強い。淘汰悪い風化礫、粘土多く混入。灰黄色風化礫 20% 混入 (粗粒砂化する)。
- ④-2：黒褐色 (Hue10YR2/2) 粘土質砂にφ 40mm の円礫 40 ~ 50% 以上混入する砂礫層。沢状地形の東縁 1層目を形成する。
- ⑤：黒褐色 (Hue10YR3/2) シルト。淘汰悪い風化礫 (φ 3 ~ 20mm) 5% 混入。
- ⑥：褐色 (Hue10YR4/4) 粘土が隙間に入る。巨礫 (亜角礫) ~ 細礫層。風化礫混入。

※上記以外は、東区中央シ地点の基本層序に準ずる。

第41図 南区基本土層